



2023年1月22日 ナザレ館竣工式

新しいスタート

主任司祭 フィラデルフィ パヴォール

南山教会の兄弟姉妹の皆様、二月はまだ強い寒さを感じ、厚い服を着ますが、自然の方は地を温める最初の日差しがあり、春の訪れを梅や水仙の花から感じる季節になりました。自然が伝えている命の喜びを感じるとともに、信仰による喜びと希望に満たされ、前を向いて行きましょう！

さて、南山教会共同体にも喜ばしい出来事が沢山ありました。まず先月の二十二日の日にナザレ館竣工式があり、松浦悟郎司教様による新築の祝福を受け、約六年間にわたって行われた打ち合わせと作業、お祈りの実りが実現しました。この場でまず大規模修繕委員会委員長の丸尾様をはじめ、委員の皆様、運営委員会で奉仕してくださった方々、作業、ご寄付、助言、お祈りで力を合わせた皆様お一人お一人に感謝申し上げます。今、竣工式から三週間が過ぎようとしています。今、広場から聞こえる子供たちの笑い声や事務売店の新しい雰囲気を楽しんでいます。「神に感謝！」と心から叫びます。南山教会の私たちに毎日いただく恵みをお互いに喜び合って、それを生かす力を皆さんと共に祈り求めたいと思います。美しく咲く花を見せてくれる暖かい春を待ちつつ・・・

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(小聖堂)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
*ゆるしの秘跡は各主日のミサ前に受られます。

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ前、4時 聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・11時・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

司教ミサ・
ナザレ館竣工式

1月22日





典礼一口メモ 香部屋の窓から
第58回 「聖変化と記念唱」のお話

典礼委員長 新内飛鳥

本文に入る前に、皆さんに大切なことをご案内します。

まだ収束しないコロナ禍ではありませんが、わたしたち共同体は対策を取りながらミサを回復するように努めています。長い期間「心の中で祈る」ことに慣れてきた私たちの中には、慣れと不安があるのでしょいか？そしてタイミングもあるのでしよう。昨年11月27日に待降節をきっかけにミサ式次第の一部の文言が切り替わりました。もちろんこれに関しても長い時間をかけて周知してきましたし読み合わせの機会も持ちました。ですが、ミサに参列する方の中には、積極的に声を出しづら方も多くいるようです。評議会の議事録にも書きましたが、どうぞ積極的にミサに参与してください。ミサは会衆と司式司祭の対話によって成り立ちます。そして新しい文言がよく解らないという方は遠慮せずにテキストを使ってください。もし、

まだご自分のテキストがないという方がおいでなら、これは必要なものですから売店で準備してください。

さて、司式司祭は供え物を祝福します。そして聖変化が始まります。これが、ミサの中心です。キリストのことばと行いによって、最後の晚餐が再現されます。ここで唱える言葉はキリストの遺言ともいわれ、司祭はイエスご自身が仰せになったのと同じ聖別の言葉を唱えます。聖別の言葉によってキリストは、パンの姿で祭壇上に現存されます。ぶどう酒も同様に聖別されます。今までぶどう酒であったものが神の全能の力によって、この瞬間にキリストの真の血となります。

第三奉献文の場合
聖なる父よ、あなたにささげるこの供えものを、いま、聖霊の御血になりますように。
※司祭が供え物に手を伸べた時に侍者はベルを鳴らします。(一振り)

キリストのことばに従って、いま、わたしたちはこの神秘を祝います。

主イエスは渡される夜、パンを取り、あなたに賛美と感謝をささげ、裂いて、弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これをとって食べなさい。これはあなた方のために渡されるわたしのからだ(である)。」

※司祭は聖別されたパンを会衆に示します。この時に侍者はベルを鳴らします。(三振り)

食事の後に同じように杯を取り、あなたに賛美と感謝をささげ、弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを受けて飲みなさい。これは私の血の杯、あなた方と多くの人のために流されて罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血(である)」。これを私の記念として行いなさい。
※司祭はカリスを会衆に示します。この時に侍者はベルを鳴らします。(三振り)

会にゆだねられました。いま、ここで、教会は使徒たちを通して主キリストから受けた命令を守り、キリスト自身の記念を行い、特にその幸いなる受難、栄光ある復活、そして昇天を思い起こすのです。「信仰の神秘」

「主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。ふたたび来られる時まで。」この記念唱はとても大切に繊細な祈りですから、心をこめて祈りたいです。聖変化でベルを振った侍者も、記念唱が終わるまで立ち上がったたり動いたりしないように配慮したいです。内陣で奉仕する侍者は絶えず堂内の祈りの妨げにならないように気を配る必要があります。

「主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。ふたたび来られる時まで。」この記念唱はとても大切に繊細な祈りですから、心をこめて祈りたいです。聖変化でベルを振った侍者も、記念唱が終わるまで立ち上がったたり動いたりしないように配慮したいです。内陣で奉仕する侍者は絶えず堂内の祈りの妨げにならないように気を配る必要があります。



名古屋教区設立100周年の教区
聖年巡礼Vol.3「多治見教会」
(2022年10月16日)―輪行巡礼記

森 直樹

北陸の教会・岐阜教会・一宮教会の巡礼に続き、多治見教会を巡礼させて頂いた。
今回の巡礼はサイクリングを兼ねて行った。

多治見教会に初めて訪れたのは及川神父様の黙想会の時、初めての黙想を体験し感銘を受けた、また修道院の神聖な雰囲気の中過ごした。
自転車を輪行バックに入れ電車にて多治見駅に、そこで自転車を組み立て多治見教会に向かった。

聖堂の見学は16時にて終了していたが、教会ではその日2組のベトナムの方の結婚式があり、庭でパーティが行われていた関係で、たまたま教会事務所の方が残っていて、ご配慮を頂き巡礼を行うことができた。

お御堂での祈りの中で、結婚された二組の方々の幸せを祈り、わたしが結婚した当時のことを黙想し、妻と共に信仰を授かり、共に生きていくことに感謝の祈りを行った。

その後ベトナムの若いお二人と話をすることが出来、元気をいただき自宅までの道のりを自転車で帰宅することが出来た。



私たちは聖人になれますか

レジオマリエ創立者

フランク ダフ

聖人とは何ですか。

神は正しい考えを抱くすべての信徒の心の中に聖人になる希望を植え付けておられます。しかし、ほとんどの人が、神のこの願いを実現するための真剣な努力をしようとはしません。それは、聖人とは何であるのかを誤解して、諦めてしまっているのです。

では、聖人とは何でしょうか。

この問いに普通、聖人とは、特別な苦行や奇跡を行う人、と聞いたような答えが帰ってきませんが、本当は、艱難も奇跡も聖人なる絶対条件ではありません。何らかの形の贖罪は必要ではありませんが、奇跡を起こす人がそれによって神の目に留まることはありません。

聖徒たちの教訓がこの難しい質問の答えを出そうとする私たちが勇気づけます。彼らが勧めるのは、恐ろしい身体的な苦行ではなく、美食、甘やかし、快適さなどを節度をもって自制することです。私たちは、支障なく働き、祈るために、普通の食事を十分にとり、健康を損なうことがないように注意するようにと言われています。七つの大罪に対する戦いと目と舌の抑制の中には、最も厳しい自己犠牲の機会が十分に存在しています。従って、聖者が何であるかには別の定義があります。

それは、神を喜ばせる目的で自分の日常の勤めをつつがなく果たす人です。

このような生き方は、平凡で特に注目されることなく、すぐ忘れられるような人生であって

も、神の最も親しい友としての生き方になります。確かに、このように聖性を見ることで、私たちは勇気づけられます。

聖人たちの生活の中で私たちが恐れさせ、自分たちはできないと感じさせるものが、聖性における重要な部分ではありません。今日から、聖人になるための真剣な努力を始めるよう心がけて下さい。小さな誤解がその事の努力を阻んでいた事に気づいて下さい。

ニューマン枢機卿の次の言葉が、その道に一步を踏み出すよう私たちを誘うでしょう。

『あなたが完璧になるために何をすべきかを私に尋ねるならば、決まった時間に起床し、心を神にあげ、聖体訪問をしませ。慎み深くアンジェラスの祈りを唱え、神の栄光のために、食べ、飲む。ロザリオをよく唱え、よく反省し、悪い考えを避けて下さい。今日一日の自分自身をよく振り返って夕方に黙想し、適切な時間に床に就く。これでああなたは完璧です。』

*レジオマリエでは随時館員を募集しています。

司祭団より

2月5日

2月12日(日) 堅信式があり、ミサ後に松浦司教様と受堅者との分かち合いを第2集会室で行います。マリア会がお茶の用意をします。代父母も合わせると最大30名程の参加者になる見込みです。

報告・連絡事項

1. ナザレ館竣工式について

パウロ神父様 営繕委員長

営繕委員長のたくさんの仕事に感謝いたします。その努力の裏が見えるようになりました。

その他の多くの関係者の方々のご協力にも感謝を致します。

駐車場は安全対策を整え次第使用できるようになりますので現在では使わないようにしています。

大きな主日の際等に使うようにする等、安全な使い方を検討していきます。

中庭の駐車スペースは舗装も強くなく、地下に配管も通って度で使う想定ではないので高頻

信徒の皆様と強く支援してくださったジェブーラ神父様とボクダン神父様にも感謝を申し上げます。

解体の際のアスベストの費用を除いて、工事費の支払いも済んでおります。

植栽の工事が3月に予定されています。

大規模修繕プロジェクトについては一旦完了といたします。

鐘楼の問題は残っておりますが、現状有効な手段が無いというのが現実です。

マリヤ館の横の樹木について、背が高くなっていく上に土が少ないので倒れないように剪定します。手伝っていただけの方がいらっしゃれば主任司祭にお声がけください。

2. 次期評議員について

信徒代表

2023年度から変更がある方のみ、配布した書式に記入いただき信徒代表へ提出をお願いします。2月末日までに提出してください。

来期から社会委員会が発足します。その他

3月10日の初金のマリア会の例会の後にマルセリーノの映画の上映会を行います。11時ごろスタートの予定です。皆さんおさそいあわせの上ご参加ください。

2月4日にカトリック名古屋教区主催で名古屋教区殉教者祭を別院近くの永国寺で行いました。3年ぶりです。久しぶりの開催でしたので有意義な会でした。

2月11日に金沢で高山右近のミサがあります。信徒協の会も北陸で行います。また報告します。

審議・相談事項

1. 今後のコロナ対策について

①記名について 前回評議会にて審議し、コロナの事情の変化により、感染ルート特定の必要性がなくなり中止してもよいとの意見を多く頂きました。記名の中止時期について審議し2月12日の主日から中止することとなりました。

②座席の間隔について 前後の間隔をつめましたので左右の間隔を開けることが肝要なのですが、表示に従い開けていないことが多く見受けられています。わかりやすい表示を実施すること

となりました。

③座席の除染について 今後継続するかどうか、必要性について再審議し、4月末までは様子見として除染用品はおきませんが、強制ではなく任意として各列のゴミ箱は撤去することとなります。

④ミサ中の機械換気・マスク着用、ミサ前の検温・ミサ前後の手指消毒について 当面継続して行い5月の時点で再考をすることといたします。

2. 聖週間・復活祭ミサについて

前回の評議会での審議結果通り、予約は行なうことなく、大聖堂の定員(人数制限)を設けて、入れない方はマリヤ館ホールでパブリックビューイングにてミサに与れるようにいたします。(聖体拝領はマリヤ館においても与ることが出来ます。)

実施の方法と、必要なご奉仕について審議いたします。
案) 駐車場係3名 火起こし2名 聖堂案内係4名 ミサ配信係2名 マリア館ホール案内係2名

マリヤ館ホールのミサ配信係2名 緊急対応係1名(医師または看護師) 計16名

3月の評議会までに各会確認を行い具体的に決定いたしました。

についても承認されました。

神のなさることはすべて時にかなって美しい。

所)の各ご家庭を訪問、巡回できました。きつと、聖家族のイエス様、マリア様、ヨセフ様

基本的に復活祭から聖歌隊の歌を再開します。徹夜祭でも聖歌隊による拝領・栄光の賛歌・閉祭の歌を再開します。

2月12日 9時30分ミサで堅信式 松浦司教
22日 灰の水曜日 7時
10時 19時 大斎・小斎です。

無事にナザレ館の引き渡しが始まりました。教会学校の子供たちのご家庭から始め、その後、教会学校の卒業生のご家族、運営委員(現評議会)の役員の方々

は、天国から各ご家庭をご覧になり、そのお祈りを共に唱え、聞き入れて下さったことでしょう。

会衆の聖歌については5月以降で検討します。

26日 9時30分のミサで洗礼志願式 9時からハーサル
3月12日 子どものためのミサ(十字架の道行含む)
19日 中高生のためのミサと十字架の道行

ほか多くの皆様が引き継いで下さった『聖ヨセフへのお祈り』と『聖家族のご像の巡回』は、一定の役割を終え、ご像自体も無事に南山教会へ戻ってきました。

竣工式の2023年1月22日には、その聖家族のご像を前にして、教会学校と中高生会のメンバー、そしてそのお父様とお母様で、丸二年間の最後の日に感謝の祈りを捧げることができました。

3. 主日ミサの開祭時間変更について

復活祭後に11時のミサを元の通り行わなくなることにあたって、現状8時と9時30分のミサを、8時30分と10時からに変更する是非をアンケートとして意見を募ることとします。

このお祈りは、2年前になりませんが、新しい信者会館が神様のご計画のうちに美しい建物として無事に完成しますように、また南山教会がすべての悪から守られて常に神様を証する教会でありますように、更にはお祈り下さる各ご家庭のために、という意向で始めました。2021年1月23日に主任司祭であるパウロ神父様のご像を祝福下さり、お祈りと共にご像の巡回が始まりました。その日から以後、一度も途切れることなく、一週間ごとに104箇所(第二弾のお祈りも含めると152箇所)

ご無理を承知でお願いをさせて頂いたにも関わらず、快く巡回とお祈りを引き受けて下さった皆様、本当にありがとうございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

4. 南山小教区75周年の記念について

具体的に行うかは来期で決定したいと思います。それまでに何を行うかを、50周年記念の際の記録を参考にするなどしてアイデアを練りましょう。

25日(土) 神のお告げの祭日 ミサは7時のみ ※17時は四旬節第5主日のミサ
26日(日) 四旬節の黙想会
8時 9時30分のミサで司導司祭は柳田敏洋師(イエズス会)
四旬節中の「十字架の道行」
金曜日 15時〜 日曜日 8時と9時30分のミサの前

ご無理を承知でお願いをさせて頂いたにも関わらず、快く巡回とお祈りを引き受けて下さった皆様、本当にありがとうございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

5. その他

聖堂横女子トイレの詰まりを解消して和式を洋式にし扉を外開きとする工事が承認されました。金額は704,000円です。

旧信徒会館取り壊し時のアスベスト処理の支払い4,200,000円に

次回評議会 3月5日



ルルドの聖母『かわいそうな罪人のために祈りなさい』

私が見たのは、年頃16、7の貴婦人です。私は今までにあなたのような美しい婦人を見たことがありません。白い着物を着て、空色の帯をしめ、右の腕にロザリオをかけていました。貴婦人は罪人の改心のため祈るよう勧められました。

最後のご出現の時、私は『あなたのお名前を教えてください』とお願いました。貴婦人は神様に感謝するかのよう天を仰いでから、(わたしは無原罪の御宿りです)と仰せになり、合掌なさいました。

聖母は私に、『この世ではなく後の世で幸せな物にしてあげます』とお約束下さいました。洞窟に現れた優雅さ、美しさは、生涯忘れることができせん。

少女ベルナデッタの証言

2月10日
ルルドの聖母
の記念日に寄
せて



信者の消息

帰天

神の栄光にあずかれますように

ペトロ 近藤 亮三 (82歳)

転入

ようこそ

マリア・テレジア 小室 幸子 (吉祥寺教会)



2023年2月 - 3月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
2月	2(木)主の奉献 22(水)灰の水曜日 (大斎・小斎) 26(日)四旬節第一主日	12(日)9:30堅信式 22(水)灰の水曜日ミサ (7:00、10:00、19:00) 26(日)洗礼志願式	3(金)マリア会例会(懇談会) 4(土)典礼委員会 5(日)南山小教区宣教司牧評議会 12(日)ヨセフ会班長会・教会周辺清掃 18(土)子ども部屋 25(土)要約筆記付きミサ	4(土)殉教者祭(栄國寺)(高山右近) 18(土)レジオマリエ名古屋クリア 22(水)~四旬節愛の献金(四旬節中)
3月	聖ヨセフの月 20(月)聖ヨセフ 24(金)神のお告げ	25(土)26(日)共同回心式	4(土)典礼委員会 5(日)南山小教区宣教司牧評議会 10(金)マリア会例会(懇談会) 18(土)子ども部屋 19(日)ヨセフ会班長会・教会周辺清掃 19(日)中高生会卒業式・終業式 19(日)教会学校卒業式・終業式 25(土)要約筆記付きミサ	5(日)城東ブロック会議 18(土)レジオマリエ名古屋クリア 20(月)司教座聖堂献堂記念日 21(火)司祭・修道者金銀祝の祝い